

## 第22期第5回 佐賀県有明海区漁業調整委員会 議事概要

1 日 時 令和3年8月3日(火) 15時30分から

2 場 所 佐賀県水産会館「大会議室」

3 出席者 佐賀県有明海区漁業調整委員会

会	長	西久保	敏
委	員	古賀	善治
”	”	井口	繁臣
”	”	中野	正利
”	”	中山	薫
”	”	中島	龍
”	”	川下	始
”	”	竹下	泰彦
”	”	古賀	秀昭
”	”	井上	亜紀

4 臨席者 佐賀県有明海漁業協同組合

指 導 部 次 長	有 馬 隆 文
指 導 課	糸 山 亮 平
佐 賀 県 水 産 課	
漁業調整担当係長	寺 田 雅 彦
佐賀県海区漁業調整委員会事務局	
事 務 局 長	中牟田 弘 典
主 査	増 田 健 斗

5 議題及び議決事項

(1) カキの試験養殖について(協議)

原案どおり承認された。

(2) 令和3年度全国海区漁業調整委員会連合会九州ブロック会議における佐賀県の要望事項について(協議)

原案の一部を修正して承認された。

(3) その他

事務局から次回の委員会の日程等について説明が行われた。

## 6 各議題の説明者及び質疑応答の概要

### (1) 説明者

議題 1 増田主査

議題 2・3 中牟田事務局長

### (2) 質疑応答

#### 【議題(1)について】

(古賀秀委員) 本冊資料 4 ページの左側の表では令和 2 年度にマガキ、シカメガキ、スミノエガキの 3 種類に取組んだことになっており、一方で、別冊資料の結果報告にはシカメガキが載っていませんが、シカメガキの結果はどうなっているのでしょうか。

(増田主査) 別冊資料 3 ページにはマガキの養殖結果と記載されておりますが、これはマガキとシカメガキの両方の結果であると伺っております。

(井口委員) 皆様ご存じのとおりカキはプランクトンをよく食べてくれるので、カキ養殖が増えれば結果的にのり養殖にもプラスになると期待しております。特に西南部地区はのりの色落ちが顕著に現れる漁場ですので、こういった試験をもっと進めていただければと思います。

#### 【議題(2)について】

(竹下委員) 資料 P18 の 1 番の項目にて、特に避難救助費用を対象とした保険制度の創設を要望として挙げておりますが、玄海の漁業者が一番ミニボートで困っていることは、ミニボートから被害を受けることなのか、それともミニボートに被害を与えてしまうことなのか、どちらを懸念されているのでしょうか。

(中牟田事務局長) ミニボートの被害を懸念されています。波が高いとミニボートは発見しづらいことから、曳縄という高速で走り回る漁法を行いますと、船の波でミニボートを転覆させてしまう恐れがあります。また、ミニボートは 2 馬力未満の船外機ですので、風速が 4 m 以上あると風に煽られて陸に戻って来なくなったり、機械に詳しくない方が船外機を使いますと、機械トラブルで船外機が使用不能になり動けなくなることがあります。そういった時は、地元の漁業者が自己負担で救助活動をされることが多々ありますので、せめて救助費用の一部を補填するような制度設計を望まれています。

(井上委員) 資料 P18 の要望については、1 番の項目のうち安全講習会の受講の部分と、2 番の項目の部分については、利用者への働きかけの要望のため、1 つの項目としてまず初めに持ってくる。また、現状ミニボートの所有者の登録制度がないことは、1 番の項目の保険にも、3 番の項目の BAN にもどちらにもかかってくる。なので、所有者の登録制度の創設を 2 番目に持ってくる。そして、最後に保険と BAN の要望を持ってきてはどうでしょうか。

(中牟田事務局長)いただきましたご意見を元に要望の項目立てを変えまして  
8月16日の佐賀県連合海区漁業調整委員会にて再度ご協議をお願いしたいと  
思います。

(古賀善委員)BANのサービス対象エリアを拡大とありますが、有明海まで対象にされ  
てミニボートが入ってくるようになるのは、有明海の漁民としてはいかがかなと思  
います。

(中牟田事務局長)対象エリアを拡大することによって、漁業に支障が生ずる  
恐れがあるということであればBANに関する要望については削除したいと思います。

**【議題(3)について】**

質疑なし